

「SCORM1.2 規格に準拠した
製品認定テストスイートの多言語対応
及び適合性検査等実験」

操作説明書
(インストール編)

平成16年3月

特定非営利活動法人 日本イーラーニングコンソシアム

目 次

1. はじめに.....	1-1
1.1 凡例.....	1-1
1.2 インストールCD-Rの構成.....	1-1
2. インストールの前提条件.....	2-1
2.1 ハードウェア.....	2-1
2.2 ソフトウェア.....	2-1
2.3 上記以外の前提条件.....	2-1
3. システム構成.....	3-1
4. インストール手順.....	4-1
4.1 概要.....	4-1
4.2 Windows2000 英語版のインストール.....	4-1
4.3 Javaソフトウェアのインストール.....	4-1
4.4 製品認定テストスイートのセットアップ.....	4-1
4.5 マルチバイト対応モジュールのセットアップ.....	4-2
4.6 環境設定.....	4-3
5. アンインストール手順.....	5-1

1. はじめに

1.1 凡例

文章内の表記は以下のように区別されています。

網掛け...コマンドライン入力コマンドまたは、各種設定ファイル記述内容

command (太字) ...コマンドライン

directory_name (斜体) ...設定内容

BOX...その他の入力事項 (説明文中に入力内容を記述する場合は、BOX で囲む)

1.2 インストール CD-R の構成

¥setup.exe (インストーラー)

¥install_readme.html (インストールマニュアル)

2. インストールの前提条件

2.1 ハードウェア

ADL SCORM(TM) Version 1.2 Conformance Test Suite Version 1.2.5 が動作する環境と同等。

CPU : Pentium プラットフォーム

必要ディスク容量 : 20MB 以上

必要メモリ : 128MB RAM 以上

推奨環境

CPU : PentiumIII プロセッサ 1GHz 以上

必要ディスク容量 : 40MB 以上

必要メモリ : 256MB RAM 以上

2.2 ソフトウェア

OS : Windows2000 (英語版) ServicePack4 以降

または

WindowsXP (英語版) ServicePack1 以降

ブラウザ : インターネットエクスプローラ バージョン 6.0SP1

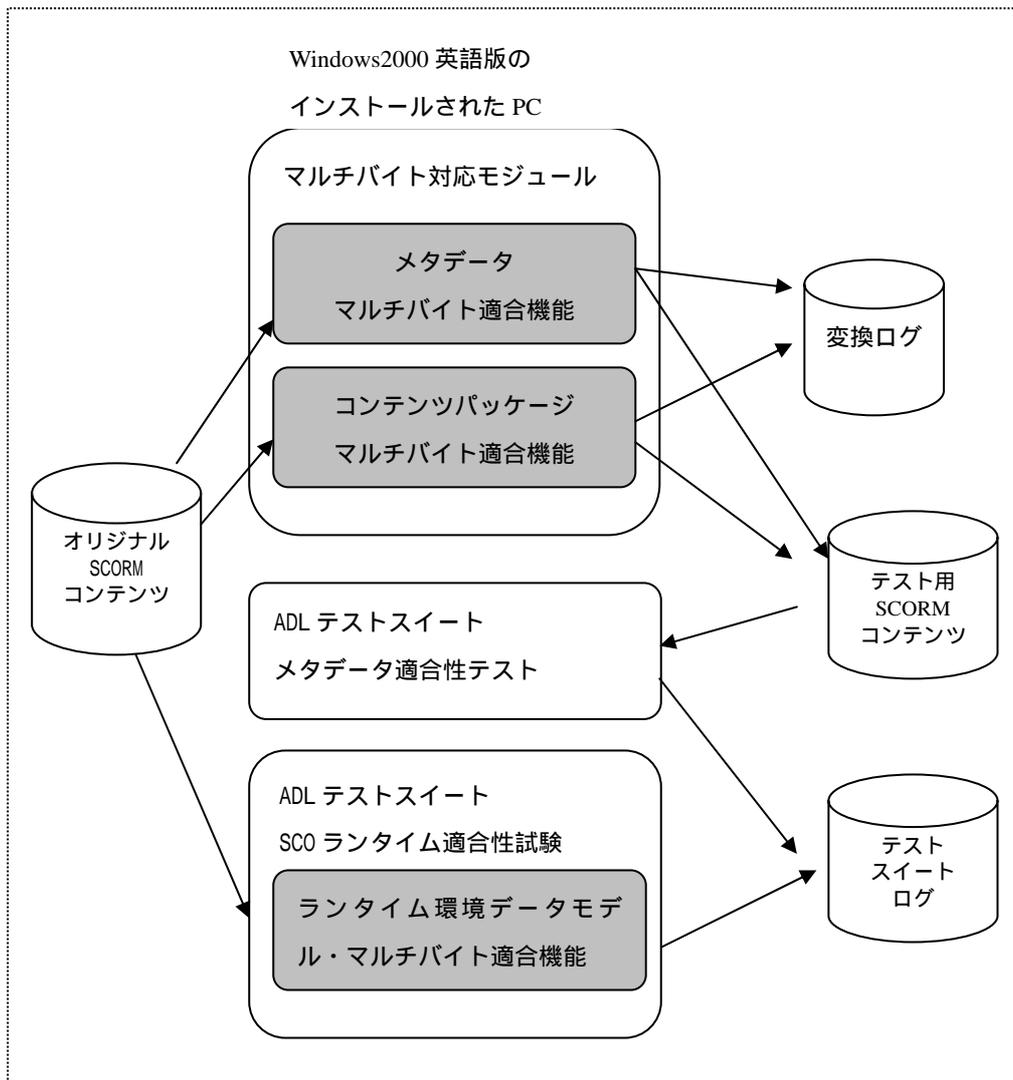
テストスイート : ADL SCORM(TM) Version 1.2 Conformance Test Suite Version 1.2.5 (Self Test)

Java : Sun Java(TM) 2 Runtime Environment Standard Edition 1.3.1_02(International)

2.3 上記以外の前提条件

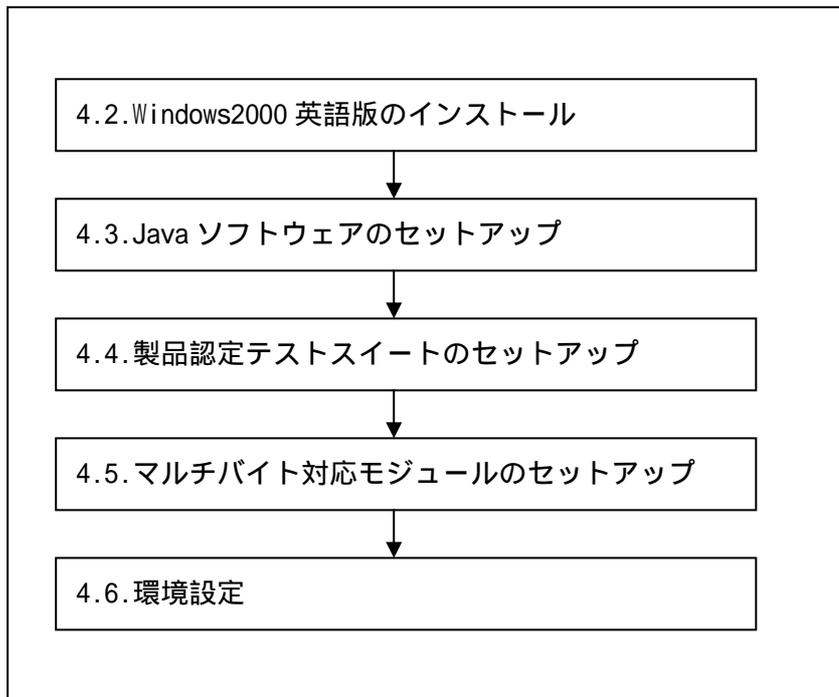
特になし

3. システム構成



4. インストール手順

4.1 概要



4.2 Windows2000 英語版のインストール

- i. 用意した PC に Windows2000(英語版)をセットアップします。
- ii. Windows2000 のセットアップが完了したらインターネットに接続し、Windows Update のページを使用して、インターネットエクスプローラ バージョン 6.0 SP1 をセットアップして下さい。
- iii. 同様に Windows Update のページを使用して Windows2000 ServicePack4 およびインターネットエクスプローラを最新にするための各種サービスパックを適用して下さい。

4.3 Java ソフトウェアのインストール

インターネットエクスプローラの設定が完了したら、必要なJavaソフトウェアをセットアップします。

Sun Java(TM) 2 Runtime Environment Standard Edition 1.3.1_02(Internationalized version, Windows Platform)をダウンロードし、セットアップして下さい。

http://java.sun.com/products/archive/j2se/1.3.1_02/jre/index.html

よりダウンロードすることが可能です。

4.4 製品認定テストスイートのセットアップ

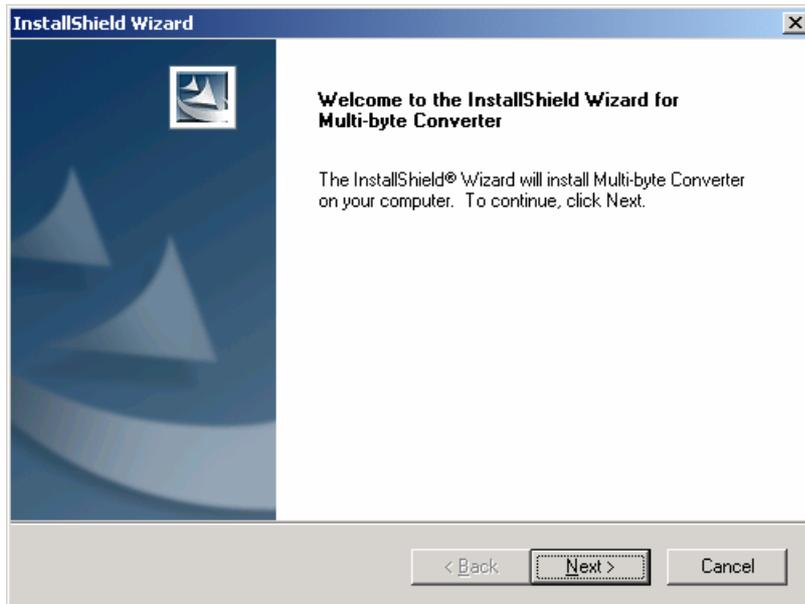
- i. 製品認定テストスイートをセットアップします。
ADL SCORM(TM) Version 1.2 Conformance Test Suite Version 1.2.5 のセットアップの方法および製品についての情報に関しては、製品に付属する

"SCORM1_2_TestSuite1_2_5ST_ReadMe.htm"を参照して下さい。

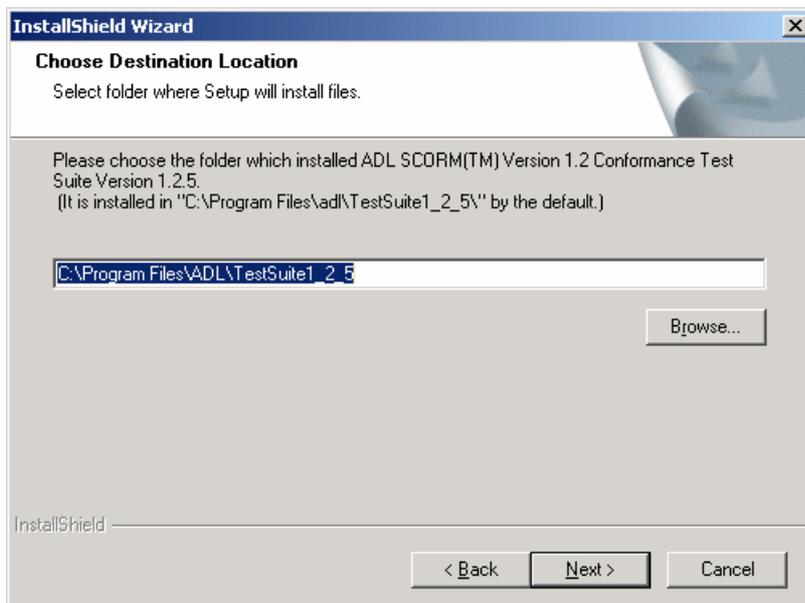
- ii. 製品認定テストスイートをセットアップする事で Windows のデスクトップに作成される[TestSuite1.2.5ST]アイコンをダブルクリックして製品認定テストスイートを起動し、アプリケーションが正常に実行されることを確認してください。
製品が正しく起動されることを確認したら、ウィンドウを閉じて、製品認定テストスイートを終了してください。

4.5 マルチバイト対応モジュールのセットアップ

- i. マルチバイト対応モジュールをセットアップします。
setup.exe を実行して、画面に表示される指示に従ってください。



- ii. セットアップの途中で、この画面が表示されます。



ここでは、先にインストールを行なった製品認定テストスイートがインストールされているフォルダを選択してください。

(デフォルトでは、"C:\Program Files\ADL\TestSuite1_2_5"にインストールされています。)

[Next] ボタンをクリックして、指示に従ってインストールを完了してください。

4.6 環境設定

- i. Windows2000(英語版)で英語以外の言語を表示する為の設定を行ないます。
[コントロールパネル]を開き、[地域のオプション]をダブルクリックします。
[全般]タブを選び、[システムの言語設定]に表示される言語リストの中から、検証に使用する言語を選択し、チェックをオンにしてください。
[適用]をクリックして選択を確定してください。
必要なファイルがコピーされます。コピーの段階で、WindowsのCDを要求された場合は指示に従ってWindowsのCDを挿入して下さい。
Windowsの再起動が求められた場合も同様に指示に従って再起動を行なってください。
- ii. (任意の手順：このステップは省略が可能です)
検証の過程で、英語以外の言語での文章の入力が必要な場合は、以下の手順で入力ができるように設定します。
[コントロールパネル]を開き、[キーボード]をダブルクリックします。
[入力ロケール]タブを選び、[インストールされている入力ロケール]に表示されている[追加]をクリックして表示される[入力ロケールの追加]ウィンドウで、検証に使用する言語およびキーボードの種類を選択して、[OK]をクリックします。
必要なファイルがコピーされます。コピーの段階で、WindowsのCDを要求された場合は指示に従ってWindowsのCDを挿入して下さい。
Windowsの再起動が求められた場合も同様に指示に従って再起動を行なってください。
(一部の言語は入力が可能です。入力を行なう場合は、その言語を使用できるキーボードを用意することをお勧めします。)
- v. Sun Java(TM)ソフトウェアに必要な設定を行ないます。
[コントロールパネル]を開き、[Java Plug-in 1.3.1_02]をダブルクリックします。
[基本]タブを選択して[Java 実行時のパラメータ]項目に次の内容を入力して[適用]をクリックして下さい。

`-Dfile.encoding=UTF8`

正しく、変更が適用されたら、ウィンドウを閉じてください。

5. アンインストール手順

一般的な他のアプリケーションと同様、Windows 標準のアンインストール方法を使用してアプリケーションをアンインストールすることが可能です。

[コントロールパネル]を開き、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。表示されるリストの中から、“Multi-byte Converter”を選び、アンインストールを行なってください。